
平成22年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成22年3月11日

質問者（質問順）

- 1 若林智子委員（無所々）
- 2 河治民夫委員（共産党）
- 3 関勝則委員（自民党）
- 4 土志田三津夫委員（民主党）
- 5 大滝正雄委員（公明党）
- 6 田中紳一委員（民ヨコ）

こども青少年局

局 別 審 査

| |
|-----------------------|
| 1 若 林 智 子 委 員 (無 所 ク) |
|-----------------------|

1 かがやけ横浜こども青少年プラン後期計画について

- (1) 後期計画の基本的な視点について伺いたい。
- (2) パブリックコメントの実施状況について伺いたい。
- (3) パブリックコメントの件数が少ない理由は何か。
- (4) 生活に課題を抱える世帯など、情報が届きにくい世帯に対する情報提供について、どのように考えているのか。
- (5) 母子家庭や児童虐待への対策（収入、就労等）について
 - ア 本市における母子家庭の状況（世帯収入及び就労状況）は、どのようになっているのか。
 - イ 児童虐待の現状と対応状況（年度末児童虐待対応件数及び一時保護件数）は、どのようになっているのか。
 - ウ 母子家庭や課題を抱える子育て家庭への支援の取組について伺いたい。
- (6) アウトカム指標とは何か。
- (7) アウトカム指標の具体的指標とは何か。
- (8) 次世代育成支援対策推進法終了後、施策の推進を担保する条例制定が必要と考えるが、どうか。

2 産前産後ケア事業について

- (1) 21年度の産後支援ヘルパーの利用状況、対象者見直し後の影響について伺いたい。
- (2) 産前産後ケア事業の概要について伺いたい。
- (3) 産後支援ヘルパーについて検討した課題を新たな制度にどのように反映したか。

- (4) 利用期間の縮小で支援を必要とされる方への影響は、どのようになっているのか。
- (5) こんにちは赤ちゃん訪問事業から個別支援につながるケース数と区ごとの取組状況について伺いたい。
- (6) 各区でケース検討を開催し、適切な支援ができるような取組が必要と考えるが、どうか。

3 親と子のつどいの広場事業関連について

- (1) 親と子のつどいの広場事業を社会福祉協議会の補助事業としている理由について伺いたい。
- (2) 補助の内容について伺いたい。
- (3) 社会福祉協議会への補助の必要性については、検証を行い見直すべきと思うが、どうか。
- (意見) 親と子のつどいの広場は、今後、拠点や保育所等との連携も含めて、区を単位とした地域の実情に沿ったネットワークの流れに乗せることが望ましい。

4 待機児童対策について

- (1) 22年度の保育所申込状況と保留数について伺いたい。
- (2) この数字をどのように考えているのか伺いたい。
- (3) 認可保育所での一時保育を実施するうえでの課題について伺いたい。
- (4) 入所円滑化の枠の撤廃を受けた本市での対応について伺いたい。
- (5) 認可外保育所、つどいの広場の利用料金の考え方について伺いたい。
- (6) 不公平感が生じないような利用料金とすべきと考えるが、どうか。
- (7) 一時預かり事業の今後の展開（ニーズ対応、方向性、戦略）について伺いたい。
- (要望) 市長直轄のプロジェクトは、単年度ではなく、引き続き、区局と現場、市民をつなぐものとして、あり方を検討してほしい。

5 障害児居場所づくり事業について

- (1) 事業実績3年間の推移について伺いたい。
- (2) 事業の実施状況（延べ利用人数）は、どのようになっているのか。
- (3) 利用児童の内訳、学校種別、障害種別といった利用児童の状況について伺いたい。
- (4) 肢体不自由や重複障害のお子さんの利用にかたよりが生じているとすれば、
どういう理由か伺いたい。
- (5) 家賃補助等の設定が不十分で、結果として利用のしづらさになっているのなら、
家賃補助を引き上げる必要があると思うが、どうか。
- (6) 送迎サービスについての実態と課題とどのようにとらえているのか伺いたい。
- (7) 送迎を安定的に提供するために、最低限、児童デイサービスと同等の送迎補助費が必要と思うが、どうか。
- (8) 未整備区の現在の状況と今後の取組の考え方について伺いたい。

2 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 放課後児童対策について

- (1) 放課後児童クラブの確保や維持管理に、大変な保護者の苦労があることについて、どのように認識しているのか。
- (2) 放課後児童クラブ施設の確保・整備・維持への本市の支援状況について伺いたい。
- (3) 放課後児童クラブの子どもたちの健やかな放課後を保障するため、今後施設の支援を更に拡充すべきと思うがどうか。

2 児童虐待対策について

- (1) 3月の新聞報道による児童虐待死亡事件を、児童相談所が把握していなかったことに対する局長の見解について伺いたい。
- (2) 本市の直近の乳幼児健診受診率は、どのようになっているのか。
- (3) 未受診者数はどのくらいか。
- (4) 約5%の未受診の原因、本市の把握状況と対応について伺いたい。
- (5) 未受診の理由を把握するべきではないか。
- (6) 去年はどのくらい未受診者を残したのか。
- (7) 虐待防止の観点から、就学前児童で保育園・幼稚園へ通園しない子どもの把握状況と、虐待防止対策について伺いたい。
- (8) 実母の虐待が63.9%と聞くが、その理由や、問題解決の課題について伺いたい。また、きめ細やかな支援・指導が求められると思うが、どうか。
- (9) 児童相談所において7割を占める継続指導の内容、指導体制、親への指導、学校との連携はどのようになっているのか。
- (10) 虐待防止について、児童相談所、療育センター、区役所との連携、地域子育てのシステムづくりが重要であると思うが、どうか。

3 児童養護施設について

- (1) 児童養護施設の入所児童数の推移と定員の関係について伺いたい。
- (2) 児童養護施設の職員体制について問題がないのか伺いたい。
- (3) この配置でゆとりをもって支援ができるのか伺いたい。
- (4) 地域における小規模な施設等整備の考え方はどのようなになっているのか。

3 関 勝 則 委員（自民党）

1 かがやけ横浜こども青少年プラン後期計画について

- (1) 前期計画の達成状況とその成果はどのようになっているのか伺いたい。
- (2) 前期計画を推進してきた上での課題とは何か。また、後期計画ではどのように対応していくのか伺いたい。

2 ワーク・ライフ・バランスの推進について

- (1) ワーク・ライフ・バランスを推進する意義とは何か。また、文京区長の決断への感想とメッセージを伺いたい。
- (2) 父親の家事・育児参加の推進に向けての22年度の取組について伺いたい。

3 産前産後ケア事業について

- (1) 産後支援ヘルパー派遣事業と産前産後ケア事業の具体的な事業内容の違いとは何か。
- (2) 不適切な利用を防止するためのヘルパー派遣必要性の審査方法について伺いたい。
- (3) 産前産後ケア事業を、本当に支援が必要な方が利用できるための対応方法について伺いたい。

4 ひとり親家庭への支援について

- (1) ひとり親家庭への就労支援にどのように取り組んでいるのか。
 - (2) 母子家庭等就業・自立支援センターの就労支援の実績について伺いたい。
 - (3) 父子家庭支援拡充の基本的な考え方について伺いたい。
 - (4) 児童扶養手当の父子家庭への支給に向けての準備について伺いたい。
 - (5) 父子家庭への就労支援についての22年度取組について伺いたい。
- (要望) ひとり親家庭の自立を支援するため、就労支援をはじめとした総合的な取組を推進するよう要望します。

5 放課後児童育成施策について

- (1) 留守家庭児童の割合の推移は、どのようになっているのか。
 - (2) いわゆる未保護児童の割合の推移は、どのようになっているのか。
 - (3) 近隣の放課後児童クラブに対して影響が出てくる場合の転換の進め方について伺いたい。
 - (4) 今後、積極的に放課後児童クラブが放課後キッズクラブの運営を行っていくというような例を支援していく考えの有無について伺いたい。
 - (5) 特別支援学校で「はまっ子ふれあいスクール」を実施することとなった経過と実施することの意義とは何か。
- (要望) 施設を賃借して運営している放課後児童クラブの施設修繕への支援を検討することを要望します。

6 障害児施設の整備、重症心身障害児者への医療的支援について

- (1) 地域療育センターについて
 - ア 利用状況の変化とサービス提供への影響について伺いたい。
 - イ なぜ今、施設整備が必要なのか伺いたい。
 - (2) 重症心身障害児施設（障害児施設）について
 - ア 重症心身障害児施設の入所状況・待機状況と今回の新たな整備場所は決まっているのか。
 - イ 今後の改修や再整備についての進め方の考えは、どうなっているのか。
- (要望) 次年度以降、老朽化した障害児施設について、再整備などを具体化するよう要望します。
- (3) 在宅重症心身障害児者への医療的支援について
 - ア 取組実績と期待できる効果について伺いたい。
 - イ 今後の事業展開について伺いたい。

7 こども・青少年の育成施策の推進について

- (1) 次世代後期計画素案での現状認識と青少年育成施策の進め方について伺いたい。

- (2) 体験活動における青少年施設と学校との連携についての考えと取組について伺いたい。
- (3) 思春期の子どもたちが、自立した大人として成長していくためどのような取組をしているのか。
- (4) 社会全体でこども・青少年を支える仕組みづくりの一環としての新たな青少年育成の担い手をどのように育成しようと考えているのか。

4 土志田 三津夫 委員（民主党）

1 22年度予算編成の考え方について

(1) こども青少年局予算を局長はどのように評価しているのか。また、22年度の事業執行への意気込みについて伺いたい。

2 次世代育成支援行動計画について

(1) 社会全体で子育てを支援することについて、後期計画ではどのように位置づけているのか。

(2) 社会全体での子育て支援を実現するため、社会の意識の改革へどのように取り組んでいくのか。

3 子ども手当について

(1) 現行の児童手当を受給している方の申請手続について伺いたい。

(2) 新たに支給対象となった方の申請方法について伺いたい。

(3) 市民の皆様に対する広報や、問い合わせ等の相談への対応方法はどのようになっているのか。

(要望) わかりやすいお知らせと相談、さらに円滑な子ども手当の支給を要望します。

4 地域における子育て支援について

(1) 今後の就学前児童数と保育所申込者数の動向の見込みについて伺いたい。

(2) 本市の女性の労働力率のこれまでの変化と現状について伺いたい。

(3) 多様な働き方に応じた施策を、今後、量的に拡充する考えはないか伺いたい。

(4) 地域子育て支援拠点の目的及び事業内容について伺いたい。

(5) 地域子育て支援拠点と親と子のつどいの広場の違いとは何か。

(6) 地域子育て支援拠点と親と子のつどいの広場の進捗状況と整備目標について伺いたい。

- (7) 地域子育て支援拠点を1区に1か所だけでなく、1区に複数整備する考えはあるか伺いたい。
- (8) 保護者の就労状況の有無に関わらず、すべての子育て家庭を対象とした子育て支援の推進が必要と考えるが、どうか。

5 本市の若者自立支援策について

- (1) 相談支援機関のネットワークの要としての青少年相談センターの来年度の重点的取組について伺いたい。
 - (2) 「よこはま若者サポートステーション」の来年度の若者一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援の方法について伺いたい。
 - (3) 地域ユースプラザの設置状況と期待する役割について伺いたい。
 - (4) 「ハマトリウムカフェ」が果たすべき役割と提供されている具体的内容とは何か。
 - (5) 本市における困難を抱える若者に対する社会参加や就労体験のためのプログラムの実績と来年度の重点的取組について伺いたい。
 - (6) 若者自立支援の取組において、民間の企業や学校法人とどのような形で連携を進めているのか。
- (要望) こども青少年局が総力をあげ一丸となって課題の解決に向け努力することを要望します。

1 児童虐待について

- (1) 児童虐待の通報への対応について伺いたい。
- (2) 児童虐待に関わる福祉保健センター職員の専門性強化に、どのように取り組むのか。
- (3) 次世代育成に向けての社会的養護の拡充の考え方について伺いたい。
- (4) 児童養護施設の整備と里親等委託率向上の進め方について伺いたい。
- (5) 家族再統合に向けた児童相談所の取組について伺いたい。
- (6) 地域における更なる連携強化のための今後の取組について伺いたい。
- (7) 児童虐待に対する市民や関係機関の理解のための今後の取組について伺いたい。
- (8) 児童虐待防止についての22年度の取組姿勢について伺いたい。

2 発達障害児対策について

- (1) 地域療育センターで児童デイサービスを導入することになった経緯について伺いたい。併せて、児童デイサービスを南部地域療育センターと北部地域療育センターで実施する場所・規模について伺いたい。
- (2) 今回の児童デイサービスの他に、療育センターが取り組んでいる発達障害に関連した事業は、どのようなものがあるのか。
- (3) 軽度発達障害児と医療対応が必要な発達障害児へのサポートの課題と考え方について伺いたい。
- (4) 子育ての一環として発達障害への支援拡充が必要と考えるが、どうか。
- (5) 発達障害との関連がある事業、それらをつなぐ調整機能について伺いたい。
- (6) 関連局をリードしてより実効性のある取組を推進すべきと考えるが、どうか。

3 アレルギー対策について

- (1) 子どものアレルギー、特に乳幼児に対する局の取組について伺いたい。

- (2) 乳幼児に対する「ぜん息相談事業」について各区で取り組んでいる事業内容について伺いたい。
- (3) 保育園児のアレルギーに対するガイドラインはあるのか、また実際の対応は、どのようなになっているのか。
- (4) アトピー性皮膚炎が原因で起こるいじめや虐待に対し、地域の関係機関との連携におけるコーディネート機能の所在について伺いたい。
- (5) 本市の中に、アレルギー施策を統括するセクションや取組が必要と考えるが、どうか。
- (6) すぐに協議会を立ち上げるなどの具体的な取組が必要と考えるが、どうか。

1 保育料滞納対策について

- (1) 負担の公平性確保の観点から、保育料滞納者に対しては毅然とした態度で臨むべきと思うが、どうか。
- (2) 今年度の滞納処分の実施状況は、どのようなになっているのか。
- (3) 徴収率向上のために22年度に講じる対策について伺いたい。
- (4) 子ども手当が支給されることに伴い、特別な対策を講じるつもりはあるのか。

2 子ども手当について

- (1) 子ども手当の支給対象児童数及び予算の算出根拠について伺いたい。
- (2) 受給者の国籍要件は、問われないのか。
- (3) 子どもが外国にいる受給者への支給の可否及び根拠、市内の件数について伺いたい。
- (4) 外国に養子や婚外子がいる場合、人数にかかわらず支給されるのかどうか。
- (5) 本人の子どもであること及び家族関係の判断は、どのように行うのか。
- (6) 不正受給に「歯止め」をかける方策はないのか。
- (7) 23年度以降の制度設計にあたっての本市としての取組について伺いたい。

3 就園奨励補助金について

- (1) 就園奨励補助金の国基準が一部減額されたことの具体的内容について伺いたい。
- (2) 22年度の近隣市、主な政令市の就園奨励補助の状況について伺いたい。
- (3) 就園奨励補助金の本市の設定の考え方について伺いたい。
- (4) 本市としてどのように取り組んでいくのか伺いたい。
- (要望) 4～5歳児の約7割が就園する幼稚園、幼稚園児保護者への支援のさらなる充実を要望する。

4 横浜保育室制度について

- (1) 横浜保育室の位置づけについての見解を伺いたい。
- (2) 経営上の課題について、どのように認識しているのか。
- (3) 年度当初の入所率が低い横浜保育室の運営を安定させる対策について伺いたい。
- (4) 保育所に入れない世帯に対し、横浜保育室に空きが出た際の情報提供体制を強化すれば、待機児童解消につながるのではないか。